

佐呂間町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

佐呂間町は、総面積の約70%が山林、原野、湖で占められ、耕地は佐呂間川流域を除き、ほとんどが傾斜地または波状地に切り開かれている。

本町の産業は、サロマ湖の養殖を中心とした漁業と酪農畜産が基幹産業として振興が図れてきた。

また、本町の農産物は小麦、甜菜及び飼料作物が主体であり、本町の特産として南瓜なども作付けしている。現在、甜菜の作付戸数及び作付面積については、年々減少しており、労働力不足や短期輪作による収量減となっており、労働力の確保、輪作体系の確立が必要とされている。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

(2) 非主食用米

- ア 飼料用米
- イ 米粉用米
- ウ WCS用稲
- エ 加工用米
- オ 備蓄米

(3) 麦、大豆、飼料作物

湿害対策や土壌分析に基づく施肥設計を行い、高品質で安定した収量を確保することにより作付面積の維持・増反を図り、輪作体系を構築する。

(4) そば、なたね

(5) 野菜

湿害対策や土壌分析に基づく施肥設計を行い、高品質で安定した収量を確保することにより作付面積の維持・増反を図り、輪作体系を構築する。

(6) 不作付地の解消

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 28 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米			
飼料用米			
米粉用米			
WCS 用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦	1,051	996	970
大豆	79	92	115
飼料作物			
そば	115	98	100
なたね			
その他地域振興作物			
野菜			
・ 甜菜	479	465	450
・ 地力増進	16	12	15
・			

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 28 年度 (目標値)	28 年度の 支援の有無
					()	()	
					()	()	
					()	()	

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、() 内に、数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

※畑地の面積は含めないこと。

※28 年度の支援の有無の欄は、産地交付金による助成を行う取組は「有」を、助成を行わない取組は「無」を記載する。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり